

わたしの 妊娠報告書

記載日 年 月 日

おめでた宣言日	2014年 11月
年齢 (31) 歳	平成 (21) 年 (9) 月 結婚
私は (体外受精 → 淀糸胚盤胞移植)	で妊娠しました。

不妊治療歴

ASKA 通院歴 (1) 年 (6) ヶ月

他院での治療歴

なし (あり→内容 (タイミング法、クロミッド+タイミング法))

ASKAでの治療歴

一般不妊治療

自然排卵 タイミング法 (3) 回

排卵誘発 タイミング法 (3) 回

自然排卵 +人工授精 () 回

排卵誘発 +人工授精 (5) 回

生殖補助医療

DOST 法 () 回

体外受精 (1) 回) 1回の手術で体外と顕微鏡を両方

顕微授精 (1) 回) してもらいました。

妊娠の秘訣・心がけていた事

結婚後すぐ予作りを始め、良いと言われているレイボスター、豆乳、漢方など色々試しました。ただし私にお腹の赤ちゃんを授けてくれたのは高度不妊治療でした。体外準備期間から、鍼灸治療院にも行き、ウォーキング、温活は移植するまで続行しました。あとはストレスをためず、リラックスを心がけて過ごしていました。マンガを読んだり散歩したり、サヨナラをして着床してくれるのを願っていました。妊娠の事が頭から離れることはなかったのですが、考え過ぎて辛くなったり、幸せイメージをしていた時に、妊娠する事ができました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話

治療内容

原因不明不妊でした。ただ、過去に気付かぬうちにクラミジアにかかりしましていきなことが、ASKAの血液検査で解りました。他の検査は全てクリアだったので、タイミング→クロミッド→AIH→IVFとステップを踏んでの治療となりました。先生から無理にステップアップを勧められることはなく、自分で決断して進んでいたので、納得して治療を受けることができました。

その他（通院・治療費・家族など）

自宅は奈良県内ですが、ASKAまでは車で1時間かかりました。治療費はAIHまではパート代から貢出、IVFからは貯金を使いました。1回の採卵と移植で妊娠できただので、それには負担にはなりませんでした。旦那は、最初に不妊治療に反対でしたが、話し合いで重ね、協力してくれるようになりました。ケンカもたくさんしましたが、協力してくれた旦那に感謝しています。

治療中の方へのアドバイス

私の場合、1番辛かった時期はタイミングの時でした。旦那が疲れているとかタイミングを取れずに泣いていたりもしていました。AIHからは少し気持ちが楽になりました。IVFからは先生にお任せするしかなかったのですが、自己注射や採卵後の腹水などは少し大変でしたが、精神的にはリラックスできていました。ステップアップして妊娠できて、本当に良かったと思っています。もし、迷っているならば、ステップアップは恐くないの、チャレンジしてみてはいいなと思います。

スタッフへのご意見など

1年半、本当にお世話をになりました。私が元気長れたのは、ASKAだったからこそだと思っています。産院に移ってから、迫切で数日入院したりとバタバタもあったのですが、毎日無事 安定期に入り、胎動を感じるようになります。日々幸せを味わっています。中山先生、スタッフの皆さん、本当にありがとうございます。2人の凍結卵のお迎えの際には、またよろしくお願ひ致します。